



ペーターが
Zwei Jahre in Japan
日本へやって来た
Peter Giacomuzzi Susumu Zaima

SANSHUSHA

まえがき

本書は、ドイツ語の初級文法を終えた学生のみなさんがやさしく楽しく読めるように作成した読本です。

本書の特徴は、次の点にあります。

- (イ) 欄外に訳語を載せて、みなさんの辞書を引く手間を部分的に省くようにした。——このことによってみなさんがより多くの時間をドイツ語の構文の理解に当てられればと考えたのです。
- (ロ) 文法形態の機能、代名詞の指示するものなどに関する設問をテキストの途中に配した。——文法の形態にはそれぞれのはっきりした機能があります。代名詞はなんらかのものをかならず指示しているはずです。これらをしっかり押さえてはじめてテキストの解釈が可能なのです。文意を脈絡に基づいて推測するのではなく、ドイツ語そのものを読んでください。
- (ハ) 【復習コーナー】として、基本的な文法練習の機会を設けた。——語学の基本は、段階的継続性です。初級文法の上に立ってテキストが作られるのです。初級文法がしっかりした知識になっていなければドイツ語のテキストが読めるはずがありません。設問に十分に答えられない人はもう一度初級文法の当該の箇所を復習してください。
- (ニ) 注 **Anmerkungen** には適宜、初級文法ではざっとしか触れなかったような文法現象の説明も囲み記事で述べるようにした。——外国語を学ぶということには、ただできればよいという側面もありますが、やはりドイツ語を学びつつ、ドイツ語そのものにも興味を持ってもらいたいです。ドイツ語という対象に関しても「学んで問い、問うて学ん」で欲しいのです。

みなさんがドイツ語をしっかり身につけて、いつの日にかドイツ語を学んでよかったと思う日がかならず来るものと確信しております。

1994年 盛夏

在間 進

も く じ

ま え が き

1	Die Ankunft	1
2	Erste Eindrücke	6
3	Japanisch essen lernen	11
4	Über das Trinken und sich Betrinken	16
5	Baden	21
6	Auf dem Fuji	25
7	Über die Höflichkeit	30
8	Über die Religion	35
9	Über das Erdbeben	39
10	Der Abschied	43

あ と が き

——テキスト中の記号について——

Es* war Kirschblütenzeit

*印は各課テキスト毎に付いている Anmerkungen に解説のなされている語句を示しています。
該当する語あるいは該当する句や節の先頭の語に*印を付しています。

Kirschblütenzeit¹

右肩の数字は、すぐ右側に対応する訳語などのある語句を示しています。

kreuz und quer⁸

ひとまとまりの句については末語に数字を付しています。

② darüber

①..... は下欄の FRAGEN に対応する箇所を示しています。

1



Die Ankunft

Es* war Kirschblütenzeit¹, als das Flugzeug in Tokyo landete. In fast² allen Berichten über Japan, die³ wir bis dahin⁴ gelesen hatten, wurde darüber⁵ sehr viel⁵ geschrieben. Trotzdem konnten wir uns von einem Sakurafest⁶ noch keine
5 genauen Vorstellungen* machen.

1 桜の季節

2 ほとんど

3 <関係代名詞>

4 その時まで

5 非常に多くのこ

6 桜祭り

Auf dem Weg vom Flughafen in die Stadt sahen wir aber leider keinen einzigen Kirschbaum. Wir sahen nur Häuser, eigentlich sahen wir nichts anderes* als Häuser. Und Straßen, die⁷ kreuz und quer⁸, auf- und abwärts⁹ durch die Stadt
10 führten. Zu diesem für uns trostlosen Bild paßte auch das Wetter. Es war grau, regnerisch und fast genau so* kalt wie zu Hause¹⁰ in Innsbruck. Wir hatten geglaubt, in Tokyo müsse¹¹ es schon schön warm sein, da es doch viel¹² südlicher liegt, als die Städte in Österreich. Am* liebsten wäre ich gleich mit dem
15 nächsten Flugzeug wieder nach Innsbruck zurückgefliegen.

7 <関係代名詞>

8 四方八方

9 上へあるいは下へ

10 家に(いる)

11 ...に違いない

12 ずっと
<比較級の強め>

Vom* Auto aus sah ich die vielen Leuchtreklamen¹³. Werden* wir diese unverständlichen¹⁴ Zeichen jemals entziffern können? Ganz plötzlich waren wir wieder zu sprachlosen Kleinkindern

13 ネオンサイン

14 不思議な

FRAGEN

① 2行目：die wir ... gelesen hatten と過去完了になっているのはなぜですか。

② 3行目：darüber は何を指していますか。

③ 12行目：... in Tokyo müsse ... と接続法第1式が用いられているのはなぜですか。

und zu* Analphabeten geworden.

- Fast drei Stunden dauerte die Fahrt¹⁵, dann waren wir endlich
in unserer Wohnung. Daß in Japan die Wohnungen klein sind
und irgendwie¹⁶ anders, ④das haben wir schon gewußt. Aber so
5 klein? Als erstes¹⁷ mußten wir uns die Schuhe ausziehen. Und
wie* soll man nun weitergehen? Barfuß¹⁸? Ja. Pantoffeln* gab es
keine. Ich merkte, daß meine Socken¹⁹ nicht besonders sauber
waren. Noch nie waren mir meine Socken bisher ein Problem
gewesen. Aber an diesem ersten Tag in Tokyo mußte ich
10 erfahren, daß ein kleines Loch, vorne bei der großen Zehe²⁰,
doch sehr unangenehm sein kann.
- Tatami*. Das sieht wirklich ganz hübsch aus²¹, und es* läßt
sich gut darauf leben. Drei Zimmer, Küche, Bad und Toilette.
Alles zusammen²² etwa 40 Quadratmeter²³. Na ja, ⑤daran wer-
15 den wir uns hoffentlich noch gewöhnen. Zu Hause in Innsbruck
hatten wir eine ca.²⁴ 65 Quadratmeter große Wohnung, aber
die²⁵ war uns eigentlich schon lange viel zu klein.
- Und wo sind die Betten? „Im Wandschrank²⁶“, sagte man uns.
Interessant. Ich schaute hinter die Schiebetüren²⁷, doch da gab
20 es bloß²⁸ Matratzen. In der Küche wollte ich ein Glas Wasser
trinken, doch der* Hahn ließ sich nicht öffnen. Anders 'rum²⁹.
Ach so, wenn ich den Hahn „aufdrehen³⁰“ will, muß ich ihn
„zudrehen³¹“.Ein merkwürdiges Land. Später bemerkte ich, daß
dieses Prinzip des* Verkehrten auch beim Gashahn und beim
25 Türschloß anzuwenden* war. Die Betten, besser³² die Matrat-
zen, wurden einfach auf dem Boden ausgebreitet. Das hat uns
- 15 ドライブ(←車で走ること)
16 なんとなく
17 さしあたり
18 はだしで
19 靴下
20 (足の)指
21 <aussehen
22 みんな一緒に
23 平方メートル
24 約(circa)
25 =die Wohnung
26 押入れ
27 引戸
28 単に
29 =herum 回して
30 回して開ける
31 回して閉じる
32 もっと正確に言えば

FRAGEN

④ 4 行目：das は何を指していますか。

⑤ 14 行目：daran は何を指していますか。

dann ganz gut gefallen. So unkompliziert wie auf dem Campingplatz.

In dieser ersten Nacht habe ich dann noch sehr lange wach gelegen, und zu allem Überfluß³³ ist mir auch noch eingefallen, 33 おまけに

5 daß es in Japan jederzeit ein Erdbeben geben kann. Da war an Schlaf nicht mehr zu denken.



次の設問に答えなさい。

1. 著者は、空港から都心までの間で桜の木ではなく何を見たのでしょうか。
2. 著者は、どこの国から来たのですか。
3. 著者が、空港からすぐまた故国に帰りたくなかったのはなぜでしょう。
4. 著者は、故国と日本の生活慣習にどのような相違点を見いだしましたか。
5. 著者は、最初の夜よく眠れましたか。また、その理由は何ですか。

【復習コーナー】

次の動詞の人称変化（現在）を言いなさい。

sein	haben	werden
sagen	sehen	können

Anmerkungen 1

S. Z.

- 1 1 : **Es ... Kirschblütenzeit** Es は状況などを漠然と指す = 「桜の季節だった」。
- 5 : **Vorstellungen machen** < sich³ von et³ Vorstellungen machen 「…³について想像する」。
- 8 : **anderes als ...** 「…以外のもの」。ander-は als と呼応。
- 11 : **so ... wie ~** 「~と同じくらい…」。原級比較。
- 14~ : **Am liebsten wäre ... zurückgeflogen** gern の最高級と接続法第 2 式非現実話を組み合わせたもの = 「(できないであろうが) 一番したかったことは…飛んで戻ることだった」。
- 16 : **Vom ... aus** von ... aus は「…の中から」。
- 16~ : **Werden wir ... können ?** 著者が頭の中でその時考えたことをそのまま表現したものの。したがって、現在時制が用いられている。
- 2 1 : **zu ... geworden** 医者, 教師などの職業に関して「…になる」と表現する場合, 述語は無冠詞になるが (Er wird Arzt. 「彼は医者になる」), ある特定の性質をもったものになることを表す場合, 前置詞 zu を用いる (Er wird zum Lügner. 「彼は嘘つきになる」)。
- 6 : **wie soll man ... weitergehen ?** sollen は主語以外の人・状況などが, 主語に動詞の表す行為を求めることを表す = 「人(すなわち私たち) がどのように行動し続けることをこの状況は求めるか」。
- 6~ : **Pantoffeln ... keine** Es gab keine Pantoffeln. という文の名詞 Pantoffeln を話題として提示し, それらが存在しないことを強調する表現 = 「スリッパはひとつもなかった」(参照: Geld habe ich keins. 「お金は私は一銭も持っていない」)。
- 12~ : **es läßt sich ... leben** Es läßt sich gut/schlecht ... という構文に動詞を挿入すると, 「その動詞の表す行為がしやすい/しにくい」という意味の文ができる = 「その上(豊の上) で十分に暮らすことができる」。
- ☆非人称の es を主語にしたこの再帰表現は, 副詞類(道具, 場所など)の, 動作に関する属性を表す。leicht, gut のような難易を表す形容詞がかならず必要である。lassen が付加されることもされないこともある。

In diesem Bett schläft es sich schön.
このベッドは眠りごこちがよい。

Aus diesem Glas läßt es sich so schlecht trinken.
このグラスはとても飲みにくい。
- 21 : **der Hahn ließ sich ... öffnen** et¹ läßt sich ... の構文に他動詞を挿入すると(主語は動詞の目的語になる)「あるもの¹は…できる」という意味の文ができる。

☆他動詞の4格目的語を主語にしたこの再帰表現は、対象物の、行為に伴う属性を表す。leicht, gutのような難易を表す形容詞がかならず必要とされる。lassenが付加されることもされないこともある。

Das Lied singt sich leicht. (← Wir singen das Lied.)

この歌は歌いやすい。

Das Rad der Geschichte läßt sich nicht zurückdrehen.

歴史の歯車は逆転させることはできない。

- 2 24 : **des Verkehrten** 形容詞 verkehrt「あべこべの」の名詞化したもの(ここでは2格; das Verkehrte/des Verkehrten/dem Verkehrten/das Verkehrte) = 「あべこべ(という原理)」。
- 25 : **anzuwenden war** sein + zu 不定詞句(他動詞)は「…する(…される)ことができる/…す(…される)べきである」の意味を持つ = 「(この原理は…の場合にも)応用ができた」。また、この構文は自動詞にも用いることができるもので(3ページ5行目を参照), Da war an den Schlaf nicht mehr zu denken. は Da konnte ich nicht mehr an Schlaf denken. と同義になる。

☆ sein + zu 不定詞句は、被動作者の視点からの表現形式(受動態に対応するもの)であるが、話法的意味合い(可能性・必然性)がかならず伴う。

(イ) 可能性: Diese Frage ist schwer zu beantworten.

この質問は答えるのが難しい。

(ロ) 必然性: Der Ausweis ist am Eingang vorzulegen.

証明書は入口で提示しなければならない。

これらは受動形+話法の助動詞によって書き換えが可能である。

(イ) = Diese Fragen kann nicht leicht beantwortet werden.

(ロ) = Der Ausweis muß am Eingang vorgelegt werden.